



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 コージンバイオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 177A URL https://kohjin-bio.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 孝人
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 平田 賢二 (TEL) 03-5784-2272
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	4,939	△5.1	341	△65.5	340	△68.0	251	△68.4
2025年3月期	5,206	9.1	991	66.1	1,065	67.6	794	106.4

(注) 包括利益 2026年3月期 286百万円(△66.1%) 2025年3月期 843百万円(108.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	49.11	—	4.3	3.8	6.9
2025年3月期	157.57	—	17.4	13.6	19.0

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 33百万円 2025年3月期 98百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	8,904	5,945	66.8	1,163.08
2025年3月期	9,066	5,781	63.8	1,131.12

(参考) 自己資本 2026年3月期 5,945百万円 2025年3月期 5,781百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	698	△867	△320	2,486
2025年3月期	915	△1,090	1,376	2,949

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00	122	15.2	2.5
2026年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	51	20.4	0.9
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		46.2	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	4,722	△4.4	137	△59.8	147	△56.8	110	△55.9	21.65

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 -社(社名)- 、除外 -社(社名)-
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	5,111,600株	2025年3月期	5,111,600株
2026年3月期	一株	2025年3月期	一株
2026年3月期	5,111,600株	2025年3月期	5,044,011株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	4,179	△8.4	58	△92.0	71	△89.8	62	△87.7
2025年3月期	4,560	3.9	726	63.2	702	71.7	509	140.1
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	12.27		—					
2025年3月期	100.93		—					

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2026年3月期	7,659		4,891		63.9	957.02		
2025年3月期	8,033		4,951		61.6	968.65		

(参考) 自己資本 2026年3月期 4,891百万円 2025年3月期 4,951百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用環境の改善やインバウンド消費の持ち直しを背景に緩やかな回復基調が続いたものの、物価上昇による実質所得の伸び悩みや、輸出の鈍化などから、先行きには不透明感が残る状況で推移しました。

海外経済においては、米国では雇用・消費は底堅く推移した一方、金融政策の不透明感や通商政策の影響が意識されました。また、中東では米国とイランの武力衝突を背景に地政学的リスクが高まり、エネルギー価格や国際物流、金融市場の変動性が増すなど、世界経済全体に不確実性をもたらしました。

再生医療業界においては、iPS細胞や遺伝子治療を中心に研究開発および臨床応用が引き続き活発に行われ、細胞培養用培地など基盤製品の需要は中長期的に拡大傾向を示しました。一方、前連結会計年度において需要が大きく拡大した感染症関連製品については、その反動減が顕在化しました。

このような経済状況の中で、当社グループは感染症対策や再生医療の発展のために、経営理念に掲げる「顧客第一主義・品質第一主義」のもと、全従業員がグループ全体の更なる成長とステークホルダーへの貢献に努めております。

当連結会計年度におきましては、組織培養事業では計画を上回る実績を確保した一方、微生物事業における感染症関連製品の反動減、ならびに細胞加工事業におけるインバウンド患者数の低迷が、全社業績を押し下げました。

以上より、当連結会計年度の売上高は4,939百万円（前年同期比5.1%の減少）となり、営業利益は341百万円（前年同期比65.5%の減少）、経常利益は340百万円（前年同期比68.0%の減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は251百万円（前年同期比68.4%の減少）となりました。

なお、各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(組織培養事業)

当連結会計年度における組織培養事業は、国内外で再生医療および細胞治療分野の研究開発や臨床試験が継続的に進展したことを背景に、細胞培養用培地の需要が底堅く推移しました。特に、OEM培地の受注が好調に推移し、主要取引先向け販売の拡大が売上成長を牽引しました。

以上より、売上高は2,539百万円（前年同期比11.9%の増加）、セグメント利益（営業利益）は946百万円（前年同期比23.7%の増加）となり、組織培養事業は当社グループの中で最も安定した収益基盤として機能し、全社業績を支える結果となりました。

(微生物事業)

当連結会計年度における微生物事業は、病院等における臨床検査用途および産業用途向け培地の需要は概ね安定して推移し計画水準を維持しました。一方、前連結会計年度に大きく伸長した新型コロナウイルスおよびインフルエンザ関連製品については、その反動により需要が減少し大幅に計画を下回りました。加えて、在庫廃棄や棚卸資産評価損を計上したことから、利益面では厳しい状況となりました。

この結果、売上高は1,424百万円（前年同期比20.1%の減少）、セグメント損失（営業損失）は94百万円（前年同期は441百万円のセグメント利益）となりました。

(細胞加工事業)

当連結会計年度における細胞加工事業は、国内患者向けの再生医療ニーズは一定程度維持されたものの、日中関係の悪化等を背景とした中国人来日者数の減少により、インバウンド患者数が低迷しました。これにより、外国人患者を中心とした細胞加工受託件数が計画を大きく下回りました。

この結果、売上高は974百万円（前年同期比15.6%の減少）、セグメント利益（営業利益）は79百万円（前年同期比74.5%の減少）となりました。

なお、当社グループでは、特定国やインバウンド患者への依存度を低減する方針のもと、国内医療機関向け受託の拡大、長期契約型案件の獲得、ならびに受託プロセスの効率化を進めており、事業基盤の安定化を図っております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は4,268百万円となり、前連結会計年度末に比べ798百万円減少いたしました。これは主に、工場新設用地の取得や新倉庫の建設費用等の支払いにより現金及び預金が663百万円減少したこと、及び売上高の減少により売掛金が212百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産は4,636百万円となり、前連結会計年度末に比べ636百万円増加いたしました。これは主に、前述しました土地の取得及び新倉庫の完成により有形固定資産が544百万円増加したこと、及び投資有価証券が79百万円増加したことにより投資その他の資産が100百万円増加したことによるものであります。

この結果、当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末と比べ162百万円減少の8,904百万円となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は2,369百万円となり、前連結会計年度末に比べ117百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が92百万円減少したことによるものであります。

また、固定負債は589百万円となり、前連結会計年度末に比べ207百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金を150百万円、リース債務を53百万円それぞれ流動負債に振替えたことによるものであります。

この結果、当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末と比べ325百万円減少の2,959百万円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は5,945百万円となり、前連結会計年度末に比べ163百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当122百万円があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益251百万円の計上によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して463百万円減少の2,486百万円となりました。

当連結会計年度の各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果取得した資金は698百万円（前年同期比217百万円の収入減少）となりました。これは主に、売上債権の増減額306百万円（前年同期比333百万円の収入増加）があったものの、税金等調整前当期純利益が前連結会計年度比683百万円減少の332百万円であったことや、法人税等の支払額227百万円（前年同期比26百万円の支出増加）の影響が大きかったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果支出した資金は867百万円（前年同期比223百万円の支出減少）となりました。これは主に、定期預金の預入・払出の純額200百万円があった一方で、新工場用地や新細胞加工施設に係る有形固定資産の取得による支出969百万円（前年同期比108百万円の支出増加）があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果支出した資金は320百万円（前年同期比1,696百万円の収入減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出150百万円（前年同期も同額の支出）及び配当金の支払額122百万円（前年同期比64百万円の支出増加）があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に内需の底堅さが期待されるものの、為替動向や海外経済の減速懸念に加え、米国とイランとの武力衝突に起因する中東情勢の不安定化など、地政学的リスクの影響により、先行きは不透明な状況が続くものと予想されます。これに伴うエネルギー価格や物流コストの変動が、企業活動に影響を及ぼす可能性があります。

このような環境のもと、再生医療分野においては、研究開発および臨床応用の拡大を背景に、細胞培養用培地を中心とした基盤製品の需要は中長期的に拡大していくものと見込んでおります。当社グループにおきましても、OEM製品を中心とした安定供給体制の強化や、国内外研究機関・製薬企業との取引拡大を通じて、組織培養事業のさらなる成長を目指してまいります。

微生物事業については、抗原検査キット等の感染症関連製品の需要は来期においても減少すると想定しておりますが、臨床検査分野および産業用途向けの安定需要を基盤に、新製品の開発を強化するなど、収益構造の改善を図ってまいります。

細胞加工事業においては、日中関係の改善には時間を要する可能性が高いことから、インバウンド需要や国際関係の影響を受けやすい事業構造からの脱却を重要課題と位置付け、国内患者および国内医療機関向け受託の拡大を軸に、より安定的な事業運営と収益性の改善に取り組んでまいります。

なお、為替変動、原材料価格およびエネルギー価格、国際物流環境の変化等が業績に影響を与える可能性がありますが、現時点では当社グループの事業継続に重大な影響を及ぼすものではないと認識しております。

以上より、連結業績予想における売上高は当連結会計年度と比べ216百万円減少の4,722百万円、営業利益は204百万円減少の137百万円、経常利益は193百万円減少の147百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は140百万円減少の110百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後の国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,149,267	2,486,185
受取手形	34,326	32,405
売掛金	775,086	562,433
電子記録債権	177,201	87,578
商品及び製品	313,323	294,693
仕掛品	90,206	109,076
原材料及び貯蔵品	477,216	468,048
未収入金	13,757	15,868
その他	38,553	224,464
貸倒引当金	△1,975	△12,595
流動資産合計	5,066,964	4,268,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,820,745	2,738,293
減価償却累計額	△748,904	△857,614
建物及び構築物（純額）	1,071,841	1,880,678
機械装置及び運搬具	1,010,676	1,077,962
減価償却累計額	△606,376	△737,446
機械装置及び運搬具（純額）	404,300	340,515
土地	599,172	849,099
リース資産	277,314	271,718
減価償却累計額	△60,722	△91,672
リース資産（純額）	216,592	180,046
建設仮勘定	747,036	321,587
その他	414,729	496,608
減価償却累計額	△200,020	△270,336
その他（純額）	214,709	226,272
有形固定資産合計	3,253,652	3,798,198
無形固定資産合計	27,262	18,927
投資その他の資産		
投資有価証券	581,277	661,003
繰延税金資産	62,759	77,313
その他	74,731	80,796
投資その他の資産合計	718,768	819,112
固定資産合計	3,999,683	4,636,239
資産合計	9,066,648	8,904,397

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	134,081	117,007
電子記録債務	75,344	66,678
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	150,000	150,000
リース債務	51,229	53,788
未払法人税等	114,136	21,195
賞与引当金	79,840	70,281
資産除去債務	-	11,560
その他	382,670	378,804
流動負債合計	2,487,303	2,369,315
固定負債		
長期借入金	375,000	225,000
リース債務	310,307	262,721
退職給付に係る負債	46,000	46,995
資産除去債務	66,214	55,184
固定負債合計	797,522	589,901
負債合計	3,284,826	2,959,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,253,984	1,253,984
資本剰余金	1,153,134	1,153,134
利益剰余金	3,265,071	3,393,412
株主資本合計	5,672,189	5,800,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,427	3,906
為替換算調整勘定	106,204	140,742
その他の包括利益累計額合計	109,631	144,648
純資産合計	5,781,821	5,945,179
負債純資産合計	9,066,648	8,904,397

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	5,206,287	4,939,025
売上原価	2,840,250	3,081,793
売上総利益	2,366,036	1,857,231
販売費及び一般管理費	1,374,901	1,515,694
営業利益	991,135	341,536
営業外収益		
受取利息	1,932	4,418
受取配当金	300	301
持分法による投資利益	98,852	33,032
受取賃貸料	11,236	11,236
受取保険金	-	8,630
その他	5,623	1,649
営業外収益合計	117,945	59,268
営業外費用		
支払利息	30,071	38,054
為替差損	377	2,805
支払手数料	10,353	2,002
支払補償費	-	14,634
その他	2,865	2,356
営業外費用合計	43,668	59,854
経常利益	1,065,412	340,950
特別利益		
固定資産売却益	1,664	-
補助金収入	-	11,694
特別利益合計	1,664	11,694
特別損失		
固定資産除却損	603	10,383
投資有価証券評価損	-	9,999
基幹システム変更に伴う損失	51,172	-
特別損失合計	51,776	20,382
税金等調整前当期純利益	1,015,300	332,261
法人税、住民税及び事業税	246,635	95,966
法人税等調整額	△26,094	△14,724
法人税等合計	220,540	81,242
当期純利益	794,759	251,019
親会社株主に帰属する当期純利益	794,759	251,019

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	794,759	251,019
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	475	478
為替換算調整勘定	47,845	34,538
その他の包括利益合計	48,321	35,017
包括利益	843,081	286,036
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	843,081	286,036

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	426,656	325,806	2,528,621	3,281,083
当期変動額				
新株の発行	827,328	827,328		1,654,656
剰余金の配当			△58,310	△58,310
親会社株主に帰属する当期純利益			794,759	794,759
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	827,328	827,328	736,449	2,391,106
当期末残高	1,253,984	1,153,134	3,265,071	5,672,189

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,951	58,358	61,310	3,342,393
当期変動額				
新株の発行				1,654,656
剰余金の配当				△58,310
親会社株主に帰属する当期純利益				794,759
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	475	47,845	48,321	48,321
当期変動額合計	475	47,845	48,321	2,439,428
当期末残高	3,427	106,204	109,631	5,781,821

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	1,253,984	1,153,134	3,265,071	5,672,189
当期変動額				
剰余金の配当			△122,678	△122,678
親会社株主に帰属する当期純利益			251,019	251,019
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	-	-	128,341	128,341
当期末残高	1,253,984	1,153,134	3,393,412	5,800,530

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	3,427	106,204	109,631	5,781,821
当期変動額				
剰余金の配当				△122,678
親会社株主に帰属する当期純利益				251,019
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	478	34,538	35,017	35,017
当期変動額合計	478	34,538	35,017	163,358
当期末残高	3,906	140,742	144,648	5,945,179

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,015,300	332,261
減価償却費	360,974	396,145
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24,055	10,619
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15,657	△9,733
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,171	995
受取利息及び受取配当金	△2,233	△4,719
支払利息	30,071	38,054
持分法による投資損益 (△は益)	△98,852	△33,032
補助金収入	-	△11,694
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	9,999
固定資産売却損益 (△は益)	△1,664	-
固定資産除却損	603	10,383
売上債権の増減額 (△は増加)	△27,134	306,048
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△188,744	16,555
未収入金の増減額 (△は増加)	△1,919	△997
未収消費税等の増減額 (△は増加)	2,407	△13,269
仕入債務の増減額 (△は減少)	△47,443	△29,144
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	9,037	△31,482
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15,112	△42,365
その他	83,691	△28,391
小計	1,143,979	916,234
利息及び配当金の受取額	2,233	48,526
利息の支払額	△29,602	△38,282
法人税等の支払額	△201,059	△227,970
営業活動によるキャッシュ・フロー	915,551	698,508
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	△200,000
定期預金の払戻による収入	-	400,000
有形固定資産の取得による支出	△861,550	△969,957
有形固定資産の売却による収入	2,297	-
有形固定資産の除却による支出	-	△9,327
無形固定資産の取得による支出	△25,946	△171
投資有価証券の取得による支出	-	△99,990
敷金及び保証金の差入による支出	△12,417	△42
敷金及び保証金の回収による収入	7,040	122
補助金による収入	-	11,694
その他	△323	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,090,901	△867,672
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,300,000	800,000
短期借入金の返済による支出	△1,300,000	△800,000
長期借入金の返済による支出	△150,000	△150,000
株式の発行による収入	1,653,044	-
リース債務の返済による支出	△53,144	△47,215
配当金の支払額	△58,310	△122,540
その他	△15,557	△1,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,376,032	△320,756
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,647	26,838
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,222,330	△463,081
現金及び現金同等物の期首残高	1,726,936	2,949,267
現金及び現金同等物の期末残高	2,949,267	2,486,185

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品・商品及びサービス分野毎に事業部門を分けて事業活動を管理、運営しており、組織細胞用培地の製造・販売を主な事業とする「組織培養事業」、臨床・食品分野の病原菌検査等に使用する微生物検査用培地の製造・販売を主な事業とする「微生物事業」、及び医療機関からの委託を受けて細胞加工を行う「細胞加工事業」の3つを、当社グループの報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「組織培養事業」は、再生医療や免疫療法の研究用途で使用される無血清培地をはじめとする組織培養用培地を開発、製造・販売しております。

「微生物事業」は、臨床・食品分野の病原菌検査や、医薬品・化粧品など様々な分野の品質検査に使用される多種多様な微生物検出用培地を開発、製造・販売しております。

「細胞加工事業」は、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に基づき特定細胞加工物製造の許可を取得した施設において、医療機関からの委託を受けて細胞加工事業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

なお、セグメント間の内部取引は発生しておりません。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	組織培養事業	微生物事業	細胞加工事業	計		
売上高						
外部顧客との契約から生じる収益	2,268,951	1,781,984	1,155,350	5,206,287	—	5,206,287
外部顧客への売上高	2,268,951	1,781,984	1,155,350	5,206,287	—	5,206,287
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,268,951	1,781,984	1,155,350	5,206,287	—	5,206,287
セグメント利益	765,320	441,026	313,229	1,519,576	△528,441	991,135
その他の項目						
減価償却費	83,001	131,384	129,537	343,922	15,746	359,669

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△528,441千円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。
 - (3) 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費等の関連費用は配分しております。なお、減価償却費の調整額15,746千円には、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る減価償却費が含まれております。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	組織培養事業	微生物事業	細胞加工事業	計		
売上高						
外部顧客との契約から生じる収益	2,539,559	1,424,690	974,775	4,939,025	—	4,939,025
外部顧客への売上高	2,539,559	1,424,690	974,775	4,939,025	—	4,939,025
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,539,559	1,424,690	974,775	4,939,025	—	4,939,025
セグメント利益又は損失(△)	946,460	△94,634	79,945	931,771	△590,234	341,536
その他の項目						
減価償却費	74,459	136,920	113,339	324,719	70,120	394,839

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△590,234千円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。
 - (3) 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費等の関連費用は配分しております。なお、減価償却費の調整額70,120千円には、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る減価償却費が含まれております。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,131.12円	1,163.08円
1株当たり当期純利益金額	157.57円	49.11円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	794,759	251,019
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	794,759	251,019
普通株式の期中平均株式数(株)	5,044,011	5,111,600

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	5,781,821	5,945,179
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,781,821	5,945,179
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	5,111,600	5,111,600

(重要な後発事象)

該当事項はありません。